

## 金剛院で文化財防火訓練 地域の宝を地域の力で守る

1月26日の文化財防火デーを前に22日、金剛院で文化財を火災から守る消防訓練が行われました。訓練には、東消防署や消防団から55人と消防車両14台が参加。国の重要文化財に指定される三重塔から出火したとの想定で、防火水槽や近くの鹿原川から水を引き放水しました。また、もしもの時の連絡体制や消火手順についても確認。

28日には西地区の桂林寺でも同訓練が行われました。



▲金剛院の消防訓練で一斉放水する消防団員



▲配備された3台の小型動力ポンプ搬送車

## 小型動力ポンプ搬送車を配置 地域の消火体制の機動力を強化

2月8日、赤れんが2号棟で小型動力ポンプ搬送車3台の配置式を行い、東大浦消防団、西大浦消防団、岡田中消防団に各1台を配置しました。

各地域の消防団の機動力強化を目的に配備するもので、四輪駆動の軽トラックに小型動力ポンプ、発電機、投光器などを積載できるほか、災害発生時には、資器材搬送など多用途に活躍します。

## いばた 猪ど畑会議 イノシシ・シカから農作物を守れ

有害鳥獣対策について考える「猪ど畑会議」が2月11日、商工観光センターで行われました。講師にNPO法人里地里山問題研究所代表理事の鈴木克哉さんを招き、イノシシやシカから農地を守るための地域による体制づくりの重要性についての解説と、市の有害鳥獣対策の担当者から市内の被害状況の説明がありました。

後半の意見交換会では東・西・加佐地区の代表が地域の獣害の現状や取り組みを報告。「地域が一体となって情報交換しながら防除・駆除に取り組むべき」などの意見が出ました。



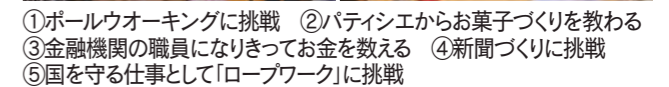
▲兵庫県篠山市の事例を紹介する鈴木さん

## ウォーキングや仕事体験 健康・働くをテーマに政策づくり

市民と若手市職員が地方創生について考え、共同で政策づくりや地域活動を実践する「政策づくり塾」が企画した催しが行われました。

スマートウエルネスシティの実現に着目し、ウォーキングを継続していくためのきっかけづくりとして、「親子で楽しむ健幸ウォーキング」が1月29日に西市民プラザで行われ、子ども11人と大人10人が参加。ポールウォーキングなどに挑戦した参加者は「体力づくりの良いきっかけになった」「親子で一緒に体験できて良かった」と話していました。

また、このまちで働くイメージをもってもらいたいとの思いで、小学生対象の仕事体験「わくわくワーク」が2月5日に城南会館で行われ、小学生45人と保護者50人が参加。大工や金融機関、パティシエなどの仕事を体験しました。参加者は「仕事の面白さや難しさが分かった」「将来について早くから考えるきっかけになった」と話していました。



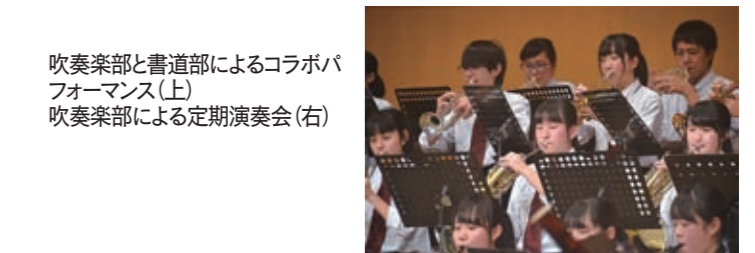
①ポールウォーキングに挑戦 ②パティシエからお菓子づくりを教わる  
③金融機関の職員になりきってお金を数える ④新聞づくりに挑戦  
⑤国を守る仕事として「ロブワーク」に挑戦

## 西高 EXPO2016 文化部の祭典を総合文化会館で

西舞鶴高校の各文化部の生徒たちが日頃の活動の成果を発表する「西高 EXPO2016」が総合文化会館で開催されました。

会場は各部ごとにコーナーが設置され、書道部や美術部などの部員たちの作品が展示されたほか、茶道部による呈茶も行われました。また、ステージでは、吹奏楽部の演奏に合わせて書道部が大きな書を書き上げるパフォーマンスが行われ、完成すると観客から大きな拍手が起こりました。

書道部部長の吉田みずほさんは「人と人が出会うのは当たり前のようにだけれど、奇跡です。書道部のメンバーや皆さんと出会えた「キセキ」に感謝の気持ちを込めて書きました」と話していました。



吹奏楽部と書道部によるコラボパフォーマンス(上)  
吹奏楽部による定期演奏会(右)